

あしよろ・ハードサポート通信

TMRは、乳牛の栄養要求に見合う適切なバランスで粗飼料、濃厚飼料、ミネラル類が混合された飼料です。町内にもTMRセンターが稼働していますし、センター以外にもTMR給餌をしている酪農場がいくつもあります。今回はTMR飼料について紹介します。

◆ 細断サイレージ（きざみサイレージ）



(↑サイロ断面。取り出しは手作業だそうです)

長物ロールをカットしてミキシングできるミキサーもありますが、一般的には混ぜやすさや投入量の調整のしやすさから、細断（きざみ）サイレージが選択されることが多いです。左上はグラス（牧草）サイレージ、左中はデントコーンサイレージの写真で、細かく細断されているのがわかります。

きざみサイレージには長物より多く喰い込めるというメリットがあります。「きざみサイレージは乳牛の健康を害する」という声をたまに聞くことがあるのですが、きちんと乳酸発酵されたサイレージは非常に嗜好性が良く、しっかり採食してくれるため、むしろ健康度は上がります。

ですが、酪酸発酵（不良発酵）サイレージやアンモニアが高いサイレージになってしまうと採食量が劇的に落ち、健康を害することもあります。良質サイレージ調製には、圃場の植生改善や適期収穫に加え、収穫時の水分調整、サイロでの踏圧がカギになります。また、開封後のサイレージは空気に触れると傷んでいくため、できるだけ断面をシャープに保つことも変敗を防ぐためのポイントです。

◆ TMR 調製のイメージ



デントコーン、グラスなどの粗飼料と、濃厚飼料を計量し、ミックスします。写真 TMR は手混ぜですが、実際には TMR ミキサー車で攪拌します。ミキサーで混ぜ過ぎるとセンイがボソボソに崩れて反芻効果が薄れてしまうため、仕上がり TMR は、手で混ぜたときのようにきれいにセンイが残るミキシングを意識します。

◆ TMR 給与に移行すると



分離給与から、適切な栄養バランスできちんと調製された TMR 給与に移行すると、通常、乳牛の採食量が上がり、泌乳ステージに見合った栄養充足をさせやすくなります。粗飼料と濃厚飼料が混ざったものを一度に食べることができるので、分離給与に比べてルーメン発酵を安定させられるのも健康度や生産アップの後押しになります。



半面、栄養バランスが崩れた TMR を給与し続けると、ルーメンアシドーシスや過肥、蹄病などの不経済につながります。そのため TMR 給餌の際は、定期的に粗飼料分析を行い、きちんと飼料設計したメニューで正確にミキシングし、給与後の乳牛の反応（採食量、採食行動、乳量乳成分、糞性状、毛づや、繁殖成績、疾病発生状況…）をモニターしながら「調整」していくことが必須です。

TMR 給餌をしているのに期待通りの生産に繋がっていない場合や、TMR を検討したいがイメージが湧かない、といったときには遠慮なくご相談ください。（久富聡子）

.....
 ・2/22（水）13:00 より JA 本所 2 階にて共立製薬乳房炎ワクチン「スタートバック」試験の説明会を実施します。ワクチンの効能や試験方法についてお話しします。試験希望の方はご出席をお願いいたします。

・2/23（木）13:00 より JA 本所 2 階にて繁殖勉強会を開催します。「繁殖サイクル、発情発見、排卵同期化、授精師あるある」など盛りだくさんの内容で、講師は営農部渡邊係長とハードサポート久富です。ぜひご参加ください。